

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公開番号】特開2016-26714(P2016-26714A)

【公開日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-206789(P2015-206789)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の始動条件が成立したことに基づいて判定遊技を行う判定遊技手段と、

前記判定遊技手段による判定遊技にて特別の結果が得られた場合、遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記特典付与手段による特典が付与された後、通常遊技状態よりも遊技者に有利な条件で遊技可能とされる特定遊技状態への制御を実行可能な特定状態制御手段と、

前記特定遊技状態に制御されている期間のうち、該特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が所定回数以下の第一状態にあるときと、該特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が前記所定回数を超えた第二状態にあるときとのいずれにおいても前記判定遊技に関する特定の表示がされうる演出表示手段と、

前記特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が前記所定回数以下の前記第一状態にあるときに前記特定の表示を前記演出表示手段に表示するに際して、該特定の表示の表示態様については、該特定の表示に対応する判定遊技にて前記特別の結果が得られない場合であっても該特別の結果が得られる可能性が高いことを遊技者に示唆する特定態様が所定確率で現れるように制御する第一演出制御手段と、

前記特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が前記所定回数を超えた前記第二状態にあるときに前記特定の表示を前記演出表示手段に表示するに際して、該特定の表示の表示態様として、前記特別の結果が得られる可能性が高いことを遊技者に示唆する特定態様が一切現れないように制御する第二演出制御手段と

を備え、

前記特定態様は、前記第一状態にあるとき、遊技領域に設けられる始動口への遊技媒体の受け入れに基づいて出現可能とされる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

手段1：所定の始動条件が成立したことに基づいて判定遊技を行う判定遊技手段と、前記判定遊技手段による判定遊技にて特別の結果が得られた場合、遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記特典付与手段による特典が付与された後、通常遊技状態よりも遊技者に有利な条件で遊技可能とされる特定遊技状態への制御を実行可能な特定状態制御手段と、

前記特定遊技状態に制御されている期間のうち、該特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が所定回数以下の第一状態にあるときと、該特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が前記所定回数を超えた第二状態にあるときとのいずれにおいても前記判定遊技に関する特定の表示がされうる演出表示手段と、

前記特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が前記所定回数以下の前記第一状態にあるときに前記特定の表示を前記演出表示手段に表示するに際して、該特定の表示の表示態様については、該特定の表示に対応する判定遊技にて前記特別の結果が得られない場合であっても該特別の結果が得られる可能性が高いことを遊技者に示唆する特定態様が所定確率で現れるように制御する第一演出制御手段と、

前記特定遊技状態に制御されてからの判定遊技の実行回数が前記所定回数を超えた前記第二状態にあるときに前記特定の表示を前記演出表示手段に表示するに際して、該特定の表示の表示態様として、前記特別の結果が得られる可能性が高いことを遊技者に示唆する特定態様が一切現れないように制御する第二演出制御手段と

を備え、

前記特定態様は、前記第一状態にあるとき、遊技領域に設けられる始動口への遊技媒体の受け入れに基づいて出現可能とされる

ことを特徴とする遊技機。